トルコのリラ、及び株式上昇、早期の選挙の後は、安定性が強固なものとなる。

https://www.bloomberg.com/news/articles/2018-04-18/turkish-lira-stocks-rally-as-snap-election-reinforces-stability

2018 年 4 月 19 日 1:13 JST

- 早期の選挙はインフレを刺激する刺激政策を終了させるかもしれない
- 「知らぬ神より馴染みの鬼」と Ashmore Group の Dehn

トルコのレフ・タイイップ・エルドアン大統領

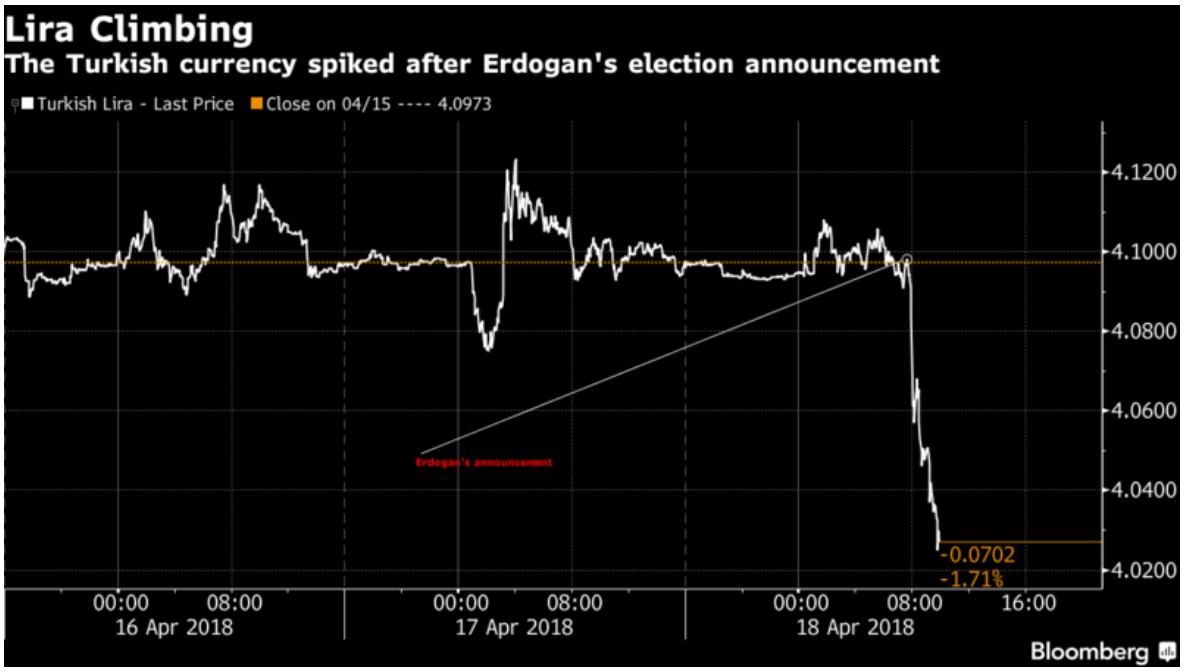
レプト・タイイップ・エルドアン大統領が解散総選挙を呼び掛けた後、トルコのリラと株式は、新興市場の通貨を巻き込んで、反発し、政局の安定とインフレを促す拡大財政と金融政策の終焉への期待が高まった。

リラは 1.8%上昇し、ボルサイスタンブール 100 指数はニューヨーク時間の 12:10 の時点で、3.1%、11 月以来最大の上昇となりました。内外の国債は少なくとも 1%上昇した。

ロンドンのアシュモア・グループ・ピーエルシー（Ashmore Group Plc）のジャン・ドン（Jan Dehn）研究責任者は、「トルコにとっての経験則は、政治的安定が他の何よりも重要だということです。エルドランが次の任期を勝ち取った場合、近い将来にとって、安定性が保証される。」と語った。

一部のアナリストは、6 月 24 日の投票でほぼ確実なエルドアンの勝利により、当局は物価の上昇と財政の悪化を招いた緩和政策を継続するインセンティブはなくなると述べた。選挙は、従来、2019 年 11 月に予定されていました。

「解散総選挙は、持続的な成長促進政策の裏にある要因を減らし、政治的により好まれる金融政策が幾分限定的になることにつながる。」とニューヨークの BBVA 外貨交換局長 Alejandro Cuadrado 氏は語った。



アナリストや投資家の意見は次のとおりです。

アシュモアの Dehn：

- 「間違いない」 エルドアンが再選、近い将来に関する安定のシグナル
- 国際収支リスクの中で、対外債務は、国内より魅力的となる
- まだ、ロシア、メキシコ、ブラジル、インド、インドネシア、南アフリカが好まれるが、ベネズエラはトルコよりもより高い価値を提供する。

BBVA のクアドラド：

- トルコの中央銀行もわかっているように、「市場はより制限的な政策を望むだろう、来週が CBRT（訳者注：トルコ中央銀行）の最初のテストとなろう。」

ロンドンのアバディーン・スタンダード・インベストメント（Aberdeen Standard Investments）のエマージング・ソブリン債の責任者、エドウィン・グティエレス（Edwin Gutierrez）

- 「住民が、過剰な景気刺激策が今後 2 ヶ月続くことを望んでいるので、幅広い良い

回復を得つつある。」

- 「市場は中央銀行により利上げを望んでいる。彼らにはそれを行うことが許されるであろうが、間違いなく、この不適切な刺激策を終わらせることはいいニュースになるであろう。」

ポーランドの Cinkciarzpl の上級アナリスト、Marcin Lipka 氏：

- 「通常、早解散総選挙はより不確実な環境を作り出すが、トルコに関しては、これは逆の可能性がある。さらに、リラは最近非常に大きな下方圧力を受けているため、リバウンドのいい理由となっている。」
- 財政政策と金融政策の両方が緩やかすぎるように見えることから、「解散総選挙はより刺激的な施策を行うリスクを低下させる可能性がある」
- 「解散総選挙は政治的リスクを解決する可能性があり、そのような緩和政策が将来にわたり必要とされることはないであろう。」
- トルコ経済は冷める必要があり、選挙が行われる前は、それは非常に難しいであろう。

Anastasia Levashova、ロンドンの Blackfriars Asset Management Ltd.のファンドマネージャー：

- 迅速な選挙は、CBRT に将来の利上げの柔軟性を高めることを許容する。
- 「経常収支赤字の根本的な原因であるリラの弱さがなくならないため、選挙活動は、長く続くことはなく、比較的早く終わるだろうという短期的な観測を市場は有している。」

ロンドンの TD 証券の新興市場戦略責任者、Cristian Maggio 氏：

- 予想は 2018 年末までに 4.08 ドル、2019 年末に 4.4 ドルまで上昇する見込みですが、今日のニュースで、修正の必要があるかもしれない。
- 「私はリラを強くする背後の理由をわかっている、私はまったく同意しません。」
- 「権力の地固め以外に、この決定の背後にある合理的理由は何か？実際にはマイナスになるだろう。なぜなら、もし、選挙が必要なら、市場に、与党と大統領の関心事は、今以上に支配力を増すことであることを示すこととなろう。政治的な見地からは唯一の合理的な説明だが、私は、なぜ市場がそれを賛成しているのかわからない。」と述べた。
- 「トルコは、この政府、この内閣、このリーダーシップでは、無意味な国となろう。」
- 「金融政策会議が開催される今週と来週の間にリラが気急上昇するなら、MPC（訳者注釈：金融政策委員会）は、利上げを行わないであろう。結果、自滅的な状況となるであろう。」

- 「CBRT に対する圧力は、利下げではなく、成長率を引き上げることをサポートすること"
- 早期投票は、今年の後半に直ちにリラが下落するのではないが、早晩、リラがより早く下落することとなることを示唆している

ロンドンの Investec Bank Plc の新興市場トレーダー、Julian Rimmer 氏：

- 「私は、おそらくニュースへの反射的な反応である以外、市場の反応を理解していない」
- 「CBNT が方針を変え、インフレ抑制と支出抑制のために策定された伝統的な金融政策に従うと市場が考えるとすれば、失望するだろう」
- 奇襲攻撃的な選挙とは、きわめて短期間、破壊的な経済政策及びエルドアンの分裂的な、政府の偏った政策の継続を意味する。「単に選挙の時期を知るだけで通貨を買うことはできない」

Inan Demir、ロンドンの Nomura Plc のエコノミスト：

- これは、8 月 26 日の Bahcel の提案よりもはるかに早く、市場の解釈では、ポピュリストが選挙の前に浪費する余地はなく、中央銀行が通貨を安定させる緊急性を高めている。」

フィデリティインターナショナルのマネーマネジャー、ポールグリーア氏：

- 「この動きは、エルドアンの最近の政策課題として、実質的にいかなるコストでも成長と雇用創出を促進すると同時に、愛国心主義的かつ民族主義的なレトリックを支持しているサポーターを追い求めることを前提とするなら、別に驚くに当たらない。」
- 「新しく行われる選挙は、政府が投票前に為替レートの安定性を優先させ、トルコ中央銀行がリラの変動を防ぐために必要な措置を取ることを可能にするだろう」
- 「我々は、早期の選挙発表を、政府による、より引き締め的な通貨および財政調整の必要性の認識として認識した。4 月 25 日の次回の MPC 会合の直後に、+50bp の CBRT 政策金利引き上げが行われる可能性がある。

ロンドンのラボバンクで新興市場通貨ストラテジストのピョートル・マティス氏：

- 「エルドアン大統領は、早期選挙を発表することで、過去数カ月の間、多くの飛び交った憶測に対し、そのような政治シナリオが解消する可能性のあることを示すことで、不確実性を取り除いたと主張するであろう。」
- 次の数か月は、構造改革をさらに遅らせるかもしれないキャンペーンが行われるかもしれない、と彼は言った

- リラの次の大きなリスクイベントは、4 月 25 日の CBRT の会合です。

以上

本書は、情報提供のためのみに提供されるものであり、新たな資料によりその全体について修正、更新または差替されることがあります。本書に含まれる情報は、信頼できると信ずべき情報源から入手されるものでありますが、その正確性または完全性について何らの表明をするものではありません。本情報の正確性または当社の見解の有効性へ依拠される方は、自己の責任においてそれを行うことになります。

本書は、金融商品（有価証券を含みますが、これに限られません）の取得の申込またはその引受もしくは買付の申込の勧誘を目的とするものではなく、また金融商品の取引条件の最終的な提示を意図したものでもありません。本書に記載されるいかなる表示も三田証券会社またはその関係会社が取引を締結することを約束するものとして解釈されるべきではありません。三田証券会社および・またはその関係会社が本書に基づいて取引を行うことはありません。
三田証券会社またはその関係会社は、本書から発生した誤解について一切の責任を負いません。また、三田証券会社及びその関係会社は、本書に基づいて投資家がなす決定から発生した財務上その他の結果に関して、いかなる受託者責任または賠償責任も負いません。投資家は、リスクを自ら評価し、且つこの点について必要な範囲で自己の法律上、財務上、税務上、会計上またはその他専門分野の自己の助言者から助言を受ける必要があります。
投資家は、特に、本書に記載する金融商品を引受、買付且つ保有する場合、一定の状況においては本金融商品の償還価値・強制買戻価格が額面金額・当初投資金額を下回る場合があり、ゼロとなる可能性もあることを認識する必要があります。

本書は、2018 年 4 月 19 日付けで Bloomberg の『Turkish Lira, Stocks Rally After Snap Election Reinforces Stability』の一部をお客様の参考に資するため提供する和訳文です。原文（英語）と和訳文に齟齬がある場合は原文（英語）が優先し、三田証券は和訳文の正確性について責任を負うものではありません。

商号等　三田証券株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第 175 号
本店所在地　〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 3－11
加入協会　日本証券業協会
指定紛争解決機関　特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター
資本金　5 億円
主な事業　金融商品取引業
設立年月　昭和 24 年 7 月
連絡先　03-3666-0011 又はお取引のある支店にご連絡ください。